資料1

岩国市中小企業等振興審議会の開催状況について

回	年月日	会議次第	主な協議内容	主な意見	中小企業振興施策への反映
1	平成30年 4月25日	・岩国市中小企業等振興審議会の役割について ・岩国市中小企業、小規模企業及び小企業振興基本計画について	岩国市中小企業、小規模企業及び小企業振興基本計画の説明	・商店街の空き店舗率は確かに減ったが、夜型店舗へとシフトしている。昼のにぎわいを増やすのにどうしたらよいか。 ・創業後のサポートや女性の創業支援は行わないのか。	・しごと交流・創業支援施設「Class Biz.」整備（令和２年度～）専門家による個別相談が可能
2	平成30年 5月24日	・中小企業等振興事業の取り組み状況について ・中小企業等に係る新規制度説明 ・平成31年度に向けた新しい中小企業等振興施策について	・国の新規制度の説明 ・平成31年度施策に向けた新たな施策 （店舗リフォーム助成、キャッシュレス推進、人材確保支援、シェアオフィス・インキュベーション施設）	・創業に関して、コミュニケーションの場が必要だと感じる。 ・中心市街地活性化対策事業の中で、まちなかリニューアル助成制度があるが、中心市街地以外でも考えた方が良い。 ・事業承継に関してはかなり深刻な状況の割には具体策がない。 ・キャッシュレス端末の導入に関して、資金や手間の問題から敬遠される可能性があると思われるので、導入に向けて優しくリードしていく必要がある。手数料等がネックになる方もいると思われる。	・しごと交流・創業支援施設「Class Biz.」整備（令和２年度～） ・店舗魅力向上リニューアル補助金（令和２年度～） ・店舗魅力向上リニューアル補助金に事業承継の場合は補助上限額を上乗せ措置
3	平成30年 11月22日	・平成29年度中小企業等振興施策の取り組み実績について ・現在取り組み中の中小企業等振興施策について ・平成31年度中小企業等振興施策の予算要求について	・平成31年度施策に向けた新たな施策 （商店リニューアル助成、キャッシュレス推進、人材確保支援、シェアオフィス・インキュベーション施設）	・創業後の支援が不足しているのではないか。 ・なぜ制度融資が利用されないのか。 ・中心市街地以外でも店舗のリニューアル施策を実施してほしい。 ・外国人の受入れをするなら、宣伝や言語対応、キャッシュレス導入、受入意識の醸成が必要	・しごと交流・創業支援施設「Class Biz.」整備（令和２年度～）専門家による個別相談が可能 ・制度融資の利率見直し(0.2%減)（令和元年度～） ・店舗魅力向上リニューアル補助金（令和２年度～）
4	令和元年 5月29日	・令和元(平成31)年度中小企業等振興施策について ・令和２年度に向けた中小企業等振興施策について	・令和２年度施策に向けた新たな施策 （店舗リフォーム助成、若者向け市内事業者情報発信、ビジネス支援型地域活性化事業）	・学生は各情報サイトから企業のホームページにアクセスして情報を確認することが多いと思われるため、ホームページ改修の補助があると良い。 ・地元で就職したい学生もいるので、上手くマッチングできると良い。 ・商店のキャッシュレス化について、具体的に何をすべきか分からない事業者が多いと思われる。何らかの対策を考えられたら良いのではないか。	・市内企業情報発信事業にて、企業情報誌作成（令和２年度～） ・デジタル人材育成事業（令和４年度～）

回	年月日	会議次第	主な協議内容	主な意見	中小企業振興施策への反映
5	令和元年 11月21日	・平成30年度中小企業等振興施策の取り組み実績について ・令和２年度に向けた新しい中小企業等振興施策について	・令和２年度施策に向けた新たな施策 （店舗魅力向上リニューアル補助金、ビジネス支援型地域活性化事業）	・中山間地域は人口がますます減少し、創業する場所としてはリスクが伴うため市街地での創業が多くなっていると思う。支援の在り方を考えていただきたい。 ・山口県は事業承継の後継者不在率が高いので、店舗リニューアル補助金に事業承継加算を行ってはどうか。 ・施設を作るだけでなくて、卵をふ化させるという目的を達成しなくてはならないので、インキュベーションマネージャーが重要	・店舗魅力向上リニューアル補助金（令和２年度～）に事業承継上乗せ措置 ・しごと交流・創業支援施設「Class Biz.」整備（令和２年度～）専門家による個別相談が可能。
6	令和２年 ５月 （書面開催）	・岩国市中小企業等振興施策の取り組み状況 ・令和２年度中小企業等振興施策（主なもの） ・令和３年度に向けた中小企業等振興施策 ・新型コロナウイルス感染症経済対策	・令和２年度事業 ・コロナウイルス感染症経済対策	・コロナウイルス感染症の拡大により、予算はコロナ対策に重点的に振り替えることが求められる。 ・飲食業の飛沫防止、デジタル化、キャッシュレス導入などは一気に進む可能性があり、事業者のコロナ対策や新たな業態チャレンジに対し、行政が積極的に応援する必要がある。 ・市内企業情報発信事業について、ニューノーマル下ではネット上の交流が主流になるため、サイトや動画での情報提供を考えていく必要がある。	・コロナ経済対策 いわくに経営応援助成金、雇用安定補助金、感染対策店舗改装補助金、プレミアム商品券発行事業等（令和２年度～） ・市内企業情報発信事業による企業情報のＷＥＢ発信（令和３年度～） ・若者就職支援事業によるＳＮＳでの企業動画配信（令和２年度～）
7	令和２年 11月 （書面開催）	・令和元年度中小企業等振興事業の取り組み実績 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた岩国市の経済対策について ・影響を受けた地域経済の状況について	・コロナウイルス感染症の影響を受けた市の経済対策 ・コロナウイルスの影響を受けた地域経済の状況	・メールだけでなく、ＬＩＮＥ、ＨＰも含めて魅力ある情報発信の方法の構築を期待 ・人口流出の減少と人材不足を解消するために引き続き力を入れていただきたい。 ・コロナの影響を受ける事業者に対し、切れ目ない支援をお願いする。	・市公式ＬＩＮＥにて、支援助成制度や各種セミナー開催を情報発信（令和３年度～） ・コロナ経済対策
8	令和３年 ５月 （書面開催）	・岩国市中小企業等振興施策の取り組み状況 ・令和２年度新型コロナウイルス感染症経済対策（実績） ・令和３年度に向けた新型コロナウイルス感染症経済対策	・コロナウイルス感染症の影響を受けた市の経済対策 ・コロナウイルスの影響を受けた地域経済の状況	・コロナ禍での創業については、平時と比べハードルが高いと考えられるため、より積極的な支援を行っていくことが必要 ・しごと交流・創業支援施設の好調な滑り出し、とてもうれしく思う。今後更に成功していくことを期待したい。 ・店舗魅力向上リニューアル補助金を開始して良かったと思う、補助金を活用した成果事例なども周知してほしい。 ・プレミアム商品券発行事業について、市民、企業にとって、実用的で購買意欲の喚起や地域経済の回復につながったと思う。規模別は大型店82%で、小型店18%であるため、もう少し地元利用還元があるといいと思う。	・しごと交流・創業支援施設「Class Biz.」整備（令和２年度～）セミナーをＷＥＢ配信、テレワーク利用推進等 ・店舗魅力向上リニューアル補助金の活用事例をＨＰで紹介（令和５年度～） ・岩国市プレミアム商品券に中小規模店のみ利用可能な券を制度設計（令和４年度～）

回	年月日	会議次第	主な協議内容	主な意見	中小企業振興施策への反映
9	令和３年 11 月 12 日	・令和２年度中小企業等振興事業の取組状況について ・岩国市中小企業、小規模企業及び小企業振興基本計画の改定について ・新型コロナウイルス感染症経済対策について	・振興基本計画の更新（案） ・コロナウイルス感染症経済対策	・いわくに経営応援助成金について、非常に簡易な申請でスムーズに実施できている。来年度以降も、事業者が売上げを上げていくための支援を検討していただきたい。 ・支援策の情報発信について、ＳＮＳを活用することも検討していただけないか。	・岩国市プレミアム商品券に中小規模店のみ利用可能な券を制度設計（令和４年度～） ・市公式ＬＩＮＥにて、支援助成制度等を情報発信（令和３年～）
１０	令和４年 ７月１日	・岩国市中小企業等振興審議会並びに振興基本計画について ・令和３年度 中小企業等振興事業の取組状況 ・令和４年度 中小企業等振興事業の取組状況（主なもの） ・市内経済の状況把握について	・振興基本計画の策定報告 ・令和４年度事業説明 （デジタル化、起業・創業支援、雇用・就業支援施策等） ・市内企業の訪問状況	・インターンシップを通じて企業を知った経験があり、インターンシップに関する支援があればよい。 ・日本で就職したい留学生に対する支援や女性の起業支援にも取り組んでもらいたい。 ・１人雇用するだけでも、莫大な費用が必要。市を挙げて市内企業の会社説明会等を積極的に行ってほしい。 ・発達障害の児童が増えており、悩まれている方が多くいる。雇用面での支援はあるか。	・いわくに企業合同就職フェアを開催（令和５年度～） ・テレワーク人材育成事業（令和３年度～）
１１	令和５年 １月 27 日	・令和５年度中小企業等振興事業の取組予定について ・企業誘致等促進条例の改正について ・市内企業の訪問状況について ・岩国市の機構改革について	・令和５年度事業説明 （デジタル化、起業・創業支援、雇用・就業支援施策等） ・企業誘致等促進条例の改正 ・市内企業の訪問状況	・デジタル化に悩まれている事業者が多い。課題が明確な企業が成功している。 ・働き方も変わってくる。女性の社会進出を進めるために、女性のテレワークをいかに支援していくか。 ・働き方改革を進めることで、生産性の向上や魅力ある職場づくりにつながる。 ・一旦市外に出た若者が岩国に戻ってくることはほぼない。学生の時に企業の魅力を感じる機会が大切 ・障害を持っている方でも、支援があれば仕事に就き、特技や才能を発揮することができるため、支援をしていくことも必要 ・物価高騰対策で昨年末から業種を絞って補助金を出しているが、それに当てはまらない企業に対してもしっかり支援していただきたい。	・デジタル導入支援相談窓口開設（令和５年度～） ・テレワーク人材育成事業（令和３年度～）にてセミナー ・若者就職支援事業にて、企業情報誌作成、検索サイト作成（令和２年度～） ・省エネ設備更新促進補助金（令和５年度～）
１２	令和５年 ８月 25 日	・令和４年度中小企業等振興事業の実績について ・令和５年度中小企業等振興事業の取組について	・令和５年度事業説明 （デジタル化、起業・創業支援、雇用・就業支援施策等）	・事業承継がなかなか進んでいない状況がある。 ・店舗リニューアル補助金は、市民にとって身近な業種に対する支援であり、継続実施してほしい。 ・市の制度の説明だけを情報発信するのではなく、成功事例を掲載すると分かりやすい。 ・日本はキャッシュレス決済など、あらゆる場面でＤＸが遅れている、是非、ＤＸの取組を進めてほしい。	・事業承継（市主催）相談会を開催（令和４年度～） ・店舗魅力向上リニューアル補助金の活用事例をＨＰで紹介（令和５年度～） ・デジタル活用人材育成事業（令和４年度～）にてセミナー開催

回	年月日	会議次第	主な協議内容	主な意見	中小企業振興施策への反映
１３	令和６年 ８月 23 日	・中小企業等振興審議会及び基本条例について ・中小企業等振興事業の取組状況について ・令和７年度施策の検討状況について ・市内の経済状況について（意見交換）	・中小企業等振興事業の取組状況 ・令和７年度施策検討状況 ・市内の経済状況について （意見交換）	・全国的にも人材不足が課題となっており、人材の取り合いがこれからも続くと予想される。他市、他県に人材が渡ることのないように対策が必要。また、しっかりと岩国市に就職したいと思えるような施策を実施してほしい。 ・すごく魅力的な中小企業が沢山ある。早い時期（小学生、中学生）から就業の目線を持たせ、インターンシップを行うことで岩国への就職を促すことが重要である。 ・店舗魅力向上リニューアル補助金を活用したいとのニーズがある。2 回目が利用できるインターバル期間を５年で検討中だが、３、４年間隔としてほしい。また、店舗移転範囲が半径 300m以内を補助対象としているが移転範囲の拡大を検討してほしい。 ・事業承継の支援先の紹介、周知に力を入れてほしい。	・若者就職支援事業にて、企業情報誌作成、検索サイト作成（令和２年度～） ・インターンシップ利用促進事業費補助金（令和７年度～） ・店舗魅力向上リニューアル補助金の２回目の利用、移転範囲拡大等の制度拡充 （令和７年度～） ・毎月第２水曜日相談会開催 ＨＰや広報で周知（継続）
１４	令和７年 ２月 18 日	・第 13 回審議会の主なご意見 ・令和７年度施策の検討状況について ・市内の経済状況について（意見交換）	・令和７年度施策検討状況 ・市内の経済状況について （意見交換）	・インターンシップを通じて、若手人材の確保と育成に力を入れたいと考える企業が多い。学生の受け入れは、人材確保において、非常に有効と思っている。しかし、中小企業では受け入れ体制が整っていない現状があり、大学や行政からの支援とかサポートが必要。 ・岩国商工会議所では、市の委託事業により２年前からデジタル活用相談窓口が設置されており、かなりの相談件数、ほぼ一杯という状況。窓口相談だけでなく訪問によるデジタル導入支援まで行っており、伴走支援することにお褒めの言葉を頂いている。引き続き、来年度、再来年度と継続して実施してほしい。 ・国はデジタル人材の育成や設備投資、賃上げなどの補助金や助成金に力を入れている。市は積極的に補助金や助成金などの発信を行っているのか。企業訪問を通じて、補助金や助成金の提案をするなど、何か取り組みを行っているのか。 ・賃上げは、従業員にとっては１番良いことだが、経営者からみれば、ガソリン代や材料費など様々なものが高騰しており、受注確保のため商品を低価格に抑える必要もあり、企業にとってはものすごくきつい。	・インターンシップ利用促進補助金（令和７年度～） ・デジタル活用相談会（令和４～６年度） ・生産性・省力化向上相談会 （令和７年度～） ・「中小企業者等への支援施策一覧」を作成し周知 （令和７年度～）

回	年月日	会議次第	主な協議内容	主な意見	中小企業振興施策への反映
１５	令和７年 ８月１日	・第 14 回審議会の主なご意見 ・中小企業等振興事業の取組状況について ・令和８年度施策の検討状況について ・市内の経済状況について（意見交換）	・中小企業等振興事業の取組状況 ・令和８年度施策検討状況 ・市内の経済状況について（意見交換）	・人材が不足している。人材確保のため、自社のＳＮＳ、Instagram を使って、働く姿や企業紹介を発信している企業が増えている。建設業の SNS 活用も増えている。人材確保の観点から動画作成し、Instagram で発信したいという企業が増えている。 ・人材確保で Instagram などの活用法などを相談できるところがあれば助かる。 ・求人を出しても募集がないと聞く。他市の先進事例のように魅力を伝えるホームページや動画作成、幅広い広報媒体掲載、定着のための支援に取り組んでほしい。 ・市内事業者から、「トランプ関税の影響が何かしら出ている」とか「今後が心配だ」との声が出ている。事業者へ直接ヒアリングした中では、アメリカ輸入業者との話として、売価に関税を含められ物価高騰も起き始めていると聞いた。今後の状況を注視していかなければならない。	・中小企業人材確保・人材定着促進事業費補助金を新設 ・採用に関する相談会を開催（令和８年６～９月） ・山口県中小企業等制度融資の米国関税の影響枠を利用する事業者の保証料補助制度を実施（令和７年度）
１６	令和８年 ２月 13 日	・第 15 回審議会の主なご意見 ・令和８年度施策の検討状況について ・中小企業、小規模企業及び小企業振興基本計画について ・市内の経済状況について（意見交換）	・令和８年度施策検討状況 ・中小企業、小規模企業及び小企業振興基本計画について ・市内の経済状況について（意見交換）	・創業支援に加え、次世代への事業承継支援も取り組んでほしい。 ・政策金利や短期プライムレート等の上昇、国債利回りが平成 27 年から令和８年にかけて 1.5%上がっている状況を踏まえると、現在の制度融資の金利水準は低い印象がある。 ・金利引き上げの際は、相談体制の充実などがあれば事業者から理解を得やすいのではないか。 ・価格転嫁において、委託事業者と中小受託事業者との間でコスト上昇分について十分に話し合いが進みにくいことがある。 ・地域によっては、病院から診療所への変更や関係人口の減少など、地域を取り巻く状況が変化している。地域ごとの実情を踏まえた支援策が必要と考えている。	・商工会区域（西商工会７月、やましろ）で相談会開催予定 ・中小企業制度融資の各資金の利率について、政策金利の上昇に伴い、一律で 0.3%引き上げ ・メルマガによるよろず支援相談の周知を実施 ・価格交渉促進月間やセミナーの周知を実施